

活動報告 (2023.1 ~ 2023.12)

1 会議

(1) 所員会議

[2023 年度]

第1回 2023年5月11日(木)

議題

- 1 2022年度事業報告及び決算報告について
- 2 2023年度事業計画及び予算について
- 3 新規研究員の加入申請について

(2) 運営委員会

[2022 年度]

第7回 2023年3月10日(金)

議題

- 1 構成員(非常勤所員、研究員)の加入、継続等について
- 2 2023年度公開シンポジウムの開催について

[2023 年度]

第1回 2023年4月20日(木)

議題

- 1 2022年度事業報告及び決算報告について
- 2 2023年度予算について
- 3 新規研究員の加入申請について
- 4 2023年度公開シンポジウムの開催について
- 5 図書等購入の申請について
- 6 研究費執行の申請について
- 7 2024年度発刊ブックレット執筆希望者の募集について

第2回 2023年5月25日(木)

議題

- 1 2023年度図書等の購入について
- 2 2023年度研究費の執行について

- 3 2023年度紀要(第69輯)の原稿募集について

第3回 2023年7月20日(木)

議題

- 1 2022年度目的別事業評価について
- 2 2023年度紀要(第69輯)の執筆者について
- 3 2024年度ブックレットの執筆者について

第4回 2023年9月28日(木)

議題

- 1 2023年度補正予算について
- 2 2023年度図書等購入申請(第2回)について
- 3 2024年度新規事業予算について

第5回 2023年10月26日(木)※メール会議

議題

- 1 2024年度事業計画について
- 2 2024年度新規事業予算について
- 3 2023年度図書等購入(第2回)について

第6回 2023年11月16日(木)

議題

- 1 2024年度予算申請について
- 2 2023年度「紀要」第69輯の編集について

第7回 2023年12月14日(木)

議題

- 1 2023年度地域見学会の実施について
- 2 2024年度古文書目録刊行記念公開講演会の開催について

2 研究所主催公開シンポジウム、講演会

[2023 年度]

(1) 演題：コモンズとしての図書館と市民との協働

日時：2023 年 7 月 8 日 (土)

13 時 30 分～16 時 30 分

場所：愛知大学豊橋校舎 6 号館 620 教室

報告 1：コモンズとしての図書館と市民との協働

報告者：是住久美子 (田原市図書館館長)

報告 2：郷土資料を活かした市民との協働例

報告者：岩瀬彰利 (豊橋市図書館副館長)

報告 3：いい街づくり、役立つ図書館

報告者：前崎徳生

(前東近江市能登川図書館館長)

パネルディスカッション

パネリスト：是住久美子、岩瀬彰利、

前崎徳生、新海弘之、水谷眞理

司会：櫻村愛子

(2) 演題：正徳・享保期の三河吉田藩一松平信祝とその時代一

日時：2023 年 12 月 2 日 (土) 13 時 30 分～

場所：愛知大学豊橋校舎 6 号館 610 教室

講師：橘敏夫 (総合郷土研究所研究員)

3 刊行物

○総合郷土研究所ブックレット 32 『正徳・享保期の三河吉田藩一松平信祝とその時代一』

(著者：橘敏夫、2023 年 1 月刊行)

○愛知大学総合郷土研究所紀要 第 68 輯

(2023 年 3 月刊行)

○『豊橋と陸軍師団 一歴史と建物一』

(著者：山田邦明、泉田英雄、2023 年 3 月刊行)

○総合郷土研究所ブックレット 33 『ふるさと「私」の始原』

(著者：武田圭太、2023 年 7 月刊行)

4 史料の保存と整理

当研究所古文書・考古作業室において 2023 年 1 月から 12 月まで行った収蔵史料の保存及び整理について、簡単に紹介する。

(以下担当：荒木亮子・田中博久・水船早紀)

(1) 陸軍騎兵星野茂吉関係史料

(仮史料群No.317)

両角洋子氏より追加で寄贈を受けたもの。計 17 点。陸軍第 15 師団で過ごした大正 3 年～5 年 (1914～1916) までの日記 2 点のほかに辞令書や賞状を新たに収蔵。追加寄贈に伴い史料群名を「陸軍騎兵星野茂吉関係史料」に変更した。

(2) 廻村道順休泊所取調帳

(仮史料群No.318)

2023 年に古書店より購入。1 点。史料中の飛騨郡代・美濃郡代の人名から天保 8 年 (1837) 作成と比定。天保 9 年 (1838) に行われる諸国巡検のうち、美濃国及び伊勢国桑名郡の道順と休泊所が記されている。

(3) 三河・知多花火目録

(仮史料群No.319)

2023 年に古書店より購入。7 点。史料中の地名から明治以降の作成と思われる。うち 2 点は現在の刈谷市・三好市・豊田市周辺地域での追善花火目録。残り 5 点は、現在の半田市周辺で行われた花火目録。史料中に記載されている名称の一部が、現在の半田市で行われている祭礼の山車の名称と一致している。

(4) 三河国南設楽郡富保村関係文書

(仮史料群No.320)

2023 年に古書店より購入。114 点。江戸後期から大正までの富保村岡組 (現在の新城市) 関係史料で、近世期の設楽郡岡村の庄屋を務めた安井家旧蔵の可能性が。山田地や杉林の売渡証文、組合村の定書などを記した「西郷庄屋手形帳」、御布告写、馬数届書などがある。

(5) 美濃国高富藩領目録

(仮史料群No.321)

2023年に古書店より購入。1点。安政7年(1860)3月5日発給。差出人は奏者番の松平大隅守親良と奏者番・寺社奉行兼帯の松平右京亮輝聰。宛名の本庄宮内少輔は美濃国高須藩第10代当主本庄道美。高富藩は美濃国各務郡・方県郡・山県郡、下野国築田郡・足利郡の一部より、計1万石を領知としていた。

(6) 三河軍記

(仮史料群No.322)

2023年に古書店より購入。12点。嘉永6年(1853)成立、野村武経著『三河軍記』とは別物。『三河後風土記』の系譜に属すると考えられる。徳川起本から天正12年(1584)小牧長久手の戦いまでを記す。

(7) 鳥居家中興譜 / 鳥居侯墓碑銘

(仮史料群No.323)

2023年に古書店より購入。『鳥居家中興譜』3点、『鳥居侯墓碑銘』1点の計4点。『鳥居家中興譜』は忠吉・元忠・忠政・忠恒・忠定、以上鳥居家5代の勲功を記す。『鳥居侯墓碑銘』は宝永7年(1710)11月25日作成。主に元忠の勲功を記す。

(8) 紀伊国海部郡関係文書

(仮史料群No.324)

2023年に古書店より購入。7点。紀伊国海部郡御神領五ヶ村(小松原村・小南村・梅田村・下村・黒田村)の祠堂銀拝借覚帳などがある。

(9) 豊橋陸軍教導学校卒業証書

(仮史料群No.325)

2023年に古書店より購入。1点。昭和11年(1936)11月20日発給。歩兵第10聯隊陸軍歩兵上等兵の卒業証書。拝受者は昭和10年(1935)12月に歩兵科第9期前半学生として入校し、昭和11年11月に卒業した。

(10) 歩兵第十八聯隊第二中隊上等兵以下名簿

(仮史料群No.326)

2023年に古書店より購入。1点。愛知県碧海郡が名古屋聯隊区から豊橋聯隊区に編入した明治31年(1898)から、静岡県磐田郡・

浜名郡・引佐郡が浜松聯隊区に移管となる明治40年(1907)までの作成と思われる。三河・遠江出身者140名記載。

(11) 岡崎池田家旧蔵史料

(未整理No.5)

2022年より継続。ダンボール11箱中6箱、史料点数2,475点を1点ずつクリーニングし、番号を付した文書封筒へ袋詰めした。そのうち情報の書き込みが終了した史料点数は1,536点。「幡豆郡小島村文書」等複数の文書群が混在しているが、そのうち「幡豆郡荻原村糟谷平右衛門関係文書」が多数を占める。

(次年度継続)

(12) 海津郡高須町吉田家文書

(未整理No.17)

2022年より継続。ダンボール10箱と文書箱1箱。密封・真空処置とクリーニングを施しながら文書封筒へ袋詰めした。袋詰め完了時の史料点数は984点。新たな虫損の有無を確認しながら順次仮目録を作成。2023年12月時点で仮目録作成点数は101点(総点数1,511点)。(次年度継続)

(13) 三河国八名郡田中新田松坂家文書

(No.124)

2022年度に目録刊行・データベース化を終えた史料群。その後、新たに史料が発見されたため、追加で整理作業を開始。163点のクリーニングと袋詰め作業を行なった。(次年度継続)

5 展示

(1) 愛知大学豊橋校舎の建物図面

期間:2023年3月28日(火)~7月31日(月)

会場:豊橋校舎大学記念館郷土研展示室



展示ポスター

(2) デジタルでのぞいてみよう—小さすぎてお目にかかれないミクロの世界—

期間:2023年11月13日(月)

~2024年2月16日(金)

会場:豊橋校舎大学記念館郷土研展示室



展示ポスター



展示室



見学の様子

6 所蔵史料の活用、研究

2021年6月から愛知大学国際問題研究所(名古屋校舎)が「愛知大学貴重資料デジタルギャラリー」の運用を開始。当研究所にても絵図類を中心に随時所蔵史料の提供を行っている。2023年時点で232点を公開。

7 史料貸出し状況

貸出先	
豊川市桜ヶ丘ミュージアム	
貸出目的、期間	史料名
2023年9月23日 ～10月22日 「徳川家康の三河統一の舞台が、実は豊川市だったという展覧会」における展示で使用するため	・「三河国二葉松」2冊 ・「三河後風土記正説 大全 卷十六」1冊 ・宝飯郡長沢村文書「村誌調」1冊